

ichicon  
45th  
since1971

第一混声合唱団コンサート  
2016

# 生月葉しそ丸

真

日時／2016年 8月15日(月)  
午後7時開演(6時30分開場)

会場／小金井 宮地楽器大ホール  
(JR武蔵小金井駅南口下車 駅前)

入場料／2,500円

曲目／レクイエム～死と焔の記憶～ 作曲／岡田和夫  
歌はどこで憶えた 林光とソング  
宮沢賢治へのオマージュ 作曲／岡田和夫

指揮／岡田和夫 <sup>かねまき</sup> 印牧真一郎

ピアノ／古川佳園

合唱／宮本弥生 矢吹紀子 青山百合子 岡本 圭 倉田智恵子  
神尾タマ子 坂口美日 柳澤佐紀子 馬場育子  
越部和子 田島美津子 村松久代 林 睦子 石川園江  
鈴木由季代 赤羽由規子 森山征子 箭川玲子  
印牧清四郎 畠山保彦 高橋雄一 天羽憲治 海老沢信一  
今泉一八 笹井俊明 印牧善雄 工藤佑介 川口 洋

第一混声合唱団

連絡先 宮本 弥生 042-323-8869 080-3257-0841  
印牧 清四郎 0422-51-1403 090-5548-5030  
URL <http://blog.goo.ne.jp/sasai3313933>  
事務局 田島 美津子 03-3480-9715 090-1406-6288  
〒201-0015 狛江市猪方3-40-13-203



# 第一混声合唱団 コンサート 2016 青葉したたれ

日時／二〇一六年八月十五日(月)

午後七時開演(六時三〇分開場)

会場／小金井 宮地楽器大ホール

曲目／宮沢賢治へのオマージュ『風』『雨ニモマケズ』『願い・希み・祈り』

■作曲・指揮／岡田和夫

歌はどこで憶えた 林光とソング

『うた(佐藤信)』『わたしがたねを(谷川俊太郎)』『みらい(林光)』

『背なかあわせの歌(佐藤信)』『欠陥(B・ブレヒト)』

『出発(山元清多)』『石ころの歌(ソル・チャン・ス)』

■作曲／林光 指揮／印牧真二郎

レクイエム〜死と焔の記憶

『永遠のみどり(原民喜)』『炎の季節(峠三吉)』『黙示(木原孝)』

『祈る(栗田素江)』『足音(渡辺邦秋)』『終曲(原民喜)』

■作曲・指揮／岡田和夫

劇場からのおくりもの

■作曲・指揮／岡田和夫

ヒロシマのデルタに

若葉うずまけ

死と焔の記憶に

よき祈よ こもれ

とわのみどりを

とわのみどりを

ヒロシマのデルタに

青葉したたれ

—原爆詩集より 詩／原 民喜—

言葉と音楽を最も素直に表わすことが出来る人の声でお互いに、気持ちや息を合わせる。ことこの出来る合唱。

レクイエム〜死と焔の記憶〜は、その合唱の魅力を、私たちから引き出す力をもつ作品でもあります。

この曲の初めと終曲に、透明な響きで死者への愛惜と、今を生きる私たちの決意を示す言葉「青葉したたれ」を、コンサートのタイトルとしました。

一九七四年に初演後、オーケストラの伴奏で

作曲されていたことと、団員が少なかった

ことで発表する機会がなかったのですが、

今回、大勢の方の参加で実現出来ることとなり、ピアノ伴奏に編曲されました。

岡田和夫の代表作、四十二年ぶりの演奏です。

宮沢賢治へのオマージュは、岡田和夫の

提案で作られました。

賢治の「人類の課題についての姿勢や思いに

心を動かされる」と作曲の動機を語っています。

多くの童話や詩に印象的に登場する「風」、

賢治が病のなかで、他者への祈りを書いた

「雨ニモマケズ」、

心あらわれる「願い・希・祈り」…。

今回は全ステージの指揮はきついで、との岡田

和夫の告白で、長いお付き合いの印牧真二郎

さんをお願いし、快諾のうえ、大きな力にな

っていたいただきました。

歌はどこで憶えた 林光とソング

今回うたう「うた(詩・佐藤信)」に、

お母さんの背中で聞いた「江戸子守歌」、

教室で教わった「ローレライ」、恋する若者

の「黒い花びら」、そして労働者になつて

うたう「ワルシャワ労働歌」の歌詞が引用

されている。人それぞれにその時の生活が

あり、歌がある。歌はどこで憶えた。

林光さん最初のソングは「たたかいの中に」

だろう。

一九五二年五月一日、皇居前広場に行進して

きたメーデーのデモ隊に警官隊が発砲し、

ひとりの若い労働者が殺された。

「たたかいの中に」の歌詞のもと文は、この

労働者のポケットに入っていた。

このように歌は日付を持つている。

いつ、どんな時に生まれた歌か、その日は、

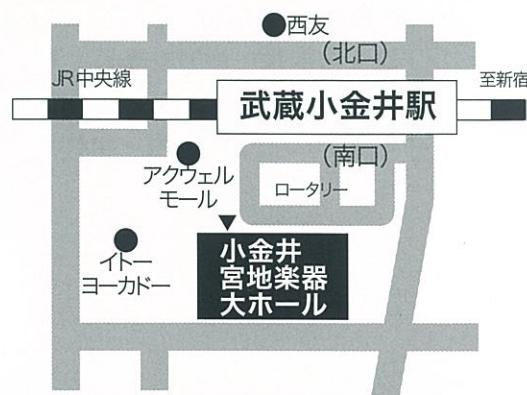
そしてその出来事は、人々にとってまた歴史

にとつてどのような意味を持つか。

ナチス時代、その強権と戦う人々の歌は、

ドイツでもフランスでも「リート」や

「シャンソン」ではなく、「ソング」だった。



小金井市本町 6-14-45 TEL:042-380-8077

JR 中央線「武蔵小金井駅」下車  
南口徒歩約1分

※駐車場はございません。公共交通機関  
もしくは近隣の有料駐車場をご利用ください。

「ソング」は抵抗歌、革命歌、連帯の歌の代名詞。

ナチスならぬアベ時代、私たちの歌、は人々を

つなぐ音色を持てるだろうか。印牧真二郎

また、私たちが唱ってきた多くの作品の中でも

独特の劇場からのおくりものから、数曲を

聴いていただきます。

子どもたちに、また、大人にも聴いていただ

きたい、心温まる歌、希望を唱たいと思

っています。

八月十五日は、太平洋戦争の終った日です。

私たちはコンサートに、この日を選びました。

歴史を知り、人々の歩んだ歳月に想いを寄せ、

今日の私たちが唱たいと思います。

暑い季節ですが、どうぞ、お聴きいただけます

よう、お待ちしております。